

農技連等川辺ブロック活動 大浦干拓に松苗270本

加世田耕地等

農加世田耕地事務所は1月29日、川辺郡大浦町の大浦干拓で16年度農村技術連盟・同業連盟共催川辺ブロック活動と称したボランティア活



作業前に写真に納まる参加者ら
＝大浦町の現地で

動を実施した。これは、同干拓地が生産者の高齢化等により維持活動が困難な状態にあることから、農加世田耕地事務所をはじめ、農加世田地域市町村耕地会、川辺地域市町村耕地

関係課職員、農村振興事業連盟加世田支部、同干拓改良区及賛同者などが参加し実施。今回は、(株)ローンが進める緑の募金活動より集められた収益金で購入した松の苗270本が緑化維持活動の

ために植樹された。冒頭、田ノ上春雄農加世田耕地事務所長が、日本全国を見渡しても、農作放棄の無いところは、大浦干拓ぐらいではないかと思う。この自然と気候風土に恵まれた地域を後世に伝え残していくためにも、今日の作業をけがや事故の無い有意義なものとしてほしい」と挨拶。また、大浦干拓第二土地改良区の窪修一理事長と、(株)ローン加世田市本店の有山順一オーナーから「われわれ、生産者にとって台風などの自然災害や害虫による被害はとても深刻な問題であります。今日の松苗植樹が、これからの将来、より良い干拓地域の発展につながるものとなることを祈念したい」、「今回の活動が全国で233カ所目の緑化支援事

業となり、本県でも8回目のお手伝いとなりまし。今後も全国8000店のローンで緑の募金や社会貢献活動を通じて街のホット・ステーションの実現を目指してまいります」とそれぞれ挨拶。続いて、参加者は3班に分かれて作業に取り掛かった。作業は、同干拓地区の左右端堤防部に群生する雑草の除草清掃作業を中心に進める。2、3班と、双子島排水機場周辺に松の苗木を植樹する1班に分かれて実施。田ノ上所長らを中心に編成される1班は、各自が持参したくわやスコップなどを使って、係員より指示された通りに土を掘った後、愛情を込めながら素手で丁寧に植樹。昼前までに作業を終えた。

地域児童らと共同で 川辺メダカ等を救出

農加世田土木事務所

川辺道路工事安全協議会(大坪稔明会長)らは1月30日、川辺郡川辺町神殿地区の川辺道路整備区間内(御県環境技術協会、神殿小学校、川辺高等学校の児童・生徒ら約30人とともに、メダカやホタルなど水生生物の救出作戦を実施した。

冒頭、濱田行弘農加世田土木事務所長が「当土木事務所では、自然環境の保護と地域づくりの両立を目指すべく、当事業でも道路整備区間に沿ってメダカ

おります。その間、皆さんにはメダカたちの里親となって飼育をお願いいたします」と挨拶。次いで、(御県環境技術協会環境衛生生物課の稲留陽嗣氏が救出作戦の実施要領を説明した。引き続き、参加者は上里ため池まで移動。5班に分かれて水生生物の捕獲に入った。水辺には、黒メダカをはじめ、しじみ、南沼えび、どじょうなどが見受けられ、採集用の網を手にした子供たちに

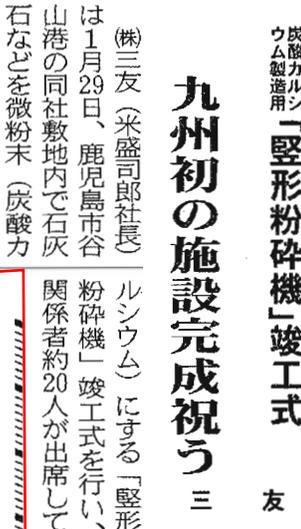
が活躍するのは幸甚なこと。この素晴らしい自然を守るために、土木事務所や施工業者の皆さんも一生懸命に頑張ってくれているので、皆さんな

りに地域の自然を大切にしたい」と話。最後に大坪会長が「高校生や小学生の皆さんとともに、地域の自然保護活動に参加して、このように有意義な時間を過ごせたことをとてもうれしく思います。この記念すべき日を1・30救出作戦の日と命名し、これから地域住民の皆さんに親しまれたい」と話。救出したメダカは、川辺高等学校と神殿小学校で1年

九州初の施設完成祝う 友

(株)三友(米盛司郎社長)は1月29日、鹿児島市谷山港の同社敷地内で石灰石などを微粉末(炭酸力

ルシウム)にする「堅形粉砕機」竣工式を行い、関係者約20人が出席して



竣工式終了後、写真に納まる関係者ら
＝鹿児島市の同社で

新たな施設の完成を祝った。炭酸力ルシウムを製造する同タイプの機械導入としては九州で初。竣工式では、同社の江夏弘康会長、米盛社長をはじめ、関係者が王ぐしを捧げ、安全を祈願。引き続き行われた点火式では、江夏会長が始動スイッチを押し機械を稼働させ竣工を祝った。同社は、今後さらに高まる予想される炭酸力ルシウムなどの粉体需要に対し、既存の破砕機(1、2号機)の生産能力、設備能力では対応できないことから、(株)アイステクニカ社製の「KVM MILL(堅形ローラーミル)」を3号機として新たに導入した。処理能力は1時間当たり45ト。投資額は1億8000万円(本体は1億円)。なお製造された粉体は、道路工事の舗装材や家畜飼料に混ぜて使用される。

大龍小卒業生を救う会 増元さんら救出へ寄付

ヤパン社長は1月29日、始良郡始良町西始良の増元さん宅を訪れ、母親の信子さんに街頭活動で集めた募金の一部5万円を手渡した。同募金は、9日に假屋会長をはじめ、中学校の救う会や鹿児島女子高等学校の同窓会のメンバー4人が、鹿児島市の山形屋アパート前で街頭活動。假屋会長は「拉致被害者救出活動のすそ野を広げ、多くの人に関心を持ってもらえるよう、今後も積極的に活動していきたい」と話した。このあと一行は、曾於郡輝北町の市川修一さん宅も訪れ、募金を贈呈した。

ヨイコムに新分野事例80件を追加

建設業振興基金は、同財団のホームページ「ヨイケンセツドットコム」に、「中小・中堅建設業の新分野進出事例」80件を追加した。テーマ別の内訳は、リフォーム・リニューアル分野が11件、環境分野が31件、農林水産分野が3件、福祉分野が6件など。業種別では、総合建設業が64件、専門工事業が15件となっている。基金では、14年度から

江夏会長「今後は舗装材等以外にも、幅広い分野で生かせるようにしていきたい」と語った

新分野進出事例の収集を始めており、これまでに252事例をホームページ上で公開していた。今回追加した事例のうち、8件については14年度調査をフォローアップしたもの。残り72件が16年度に新たに収集した事例となっている。

建設業振興基金は、同財団のホームページ「ヨイケンセツドットコム」に、「中小・中堅建設業の新分野進出事例」80件を追加した。

江夏会長は「今後は舗装材等以外にも、幅広い分野で生かせるようにしていきたい」と語った。

“真心とほほ笑みと”をモットーに心より御奉仕致します。
南日本家具工芸株式会社
TEL (099)269-7111 FAX (099)268-0385
鹿児島市東開町13-30